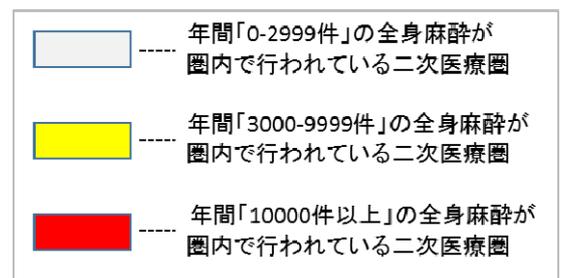
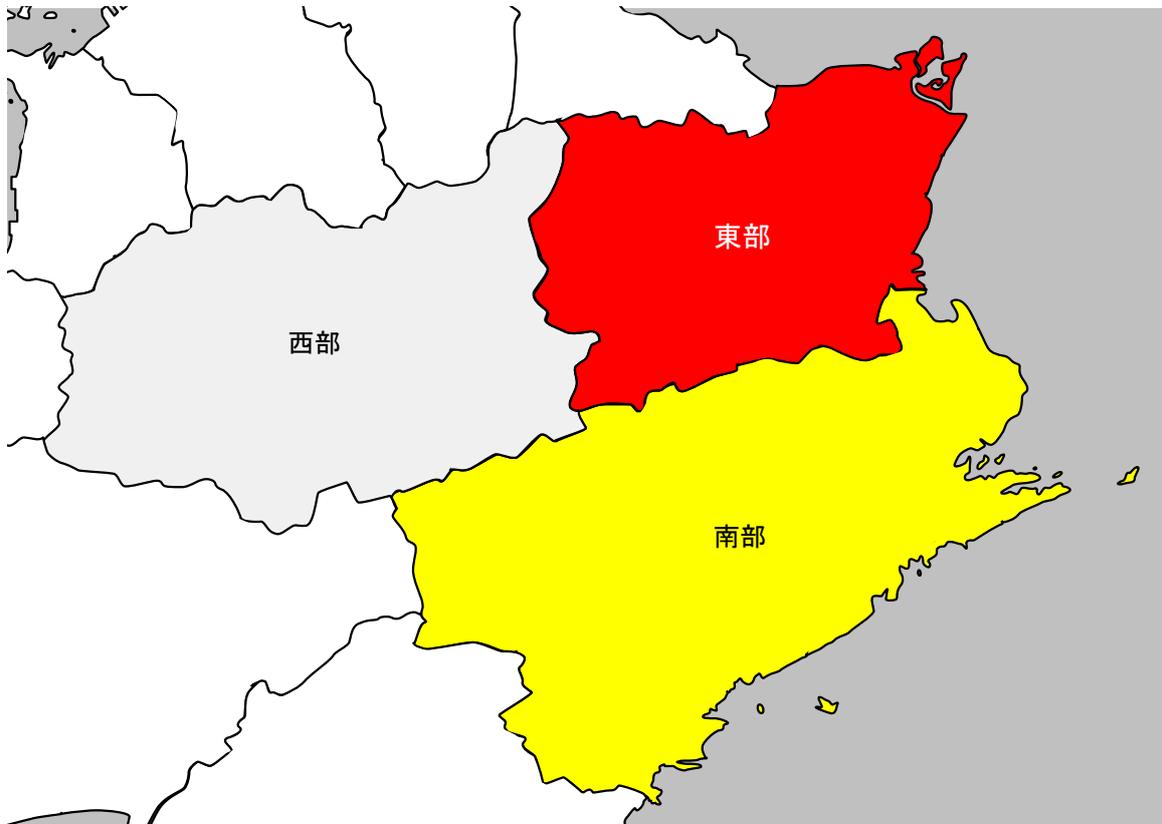


36. 徳島県



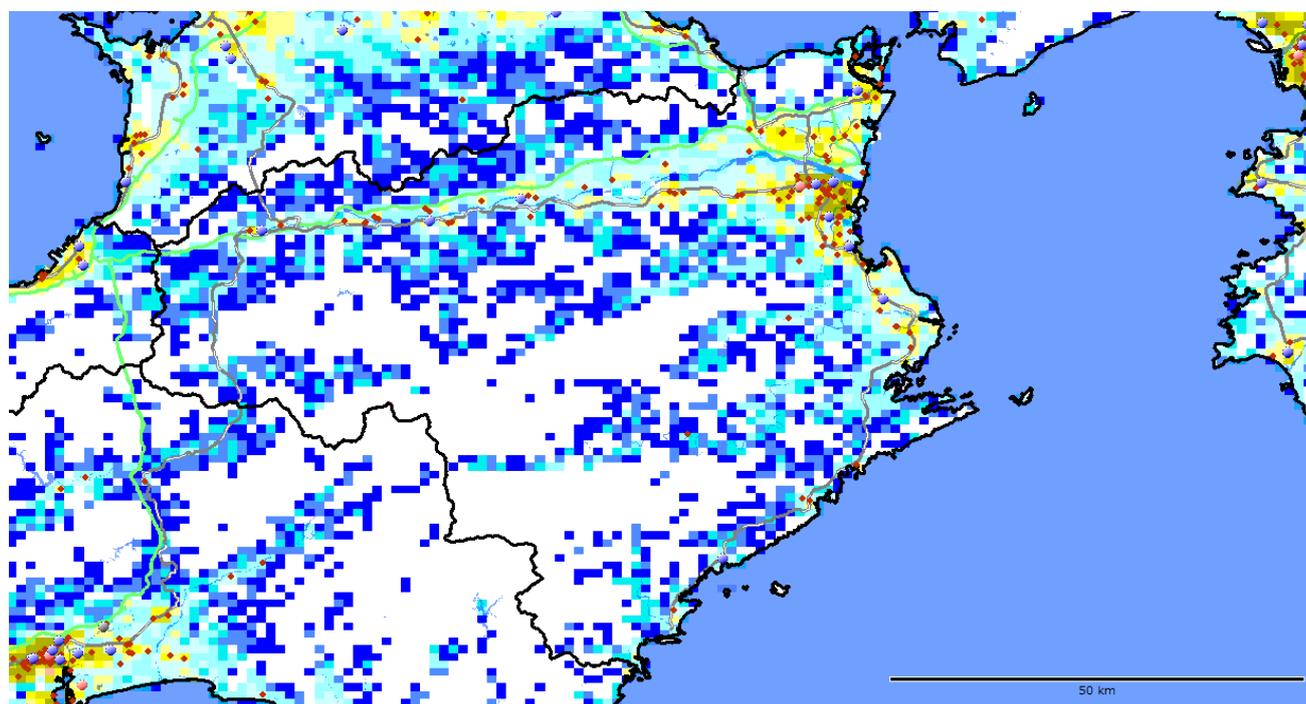
36. 徳島県

目次

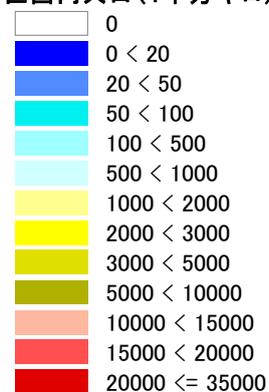
徳島県.....	36 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	36 - 7
1. 東部医療圏.....	36 - 13
2. 南部医療圏.....	36 - 17
3. 西部医療圏.....	36 - 21

36. 徳島県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 徳島県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(徳島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 徳島県は、総人口約 756 千人(2015 年推計)、面積 4147 ㎢、人口密度は 182 人/㎢である。
- *人口の将来予測： 徳島県の総人口は 2025 年に 686 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 571 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 123 千人が、2025 年にかけて 146 千人へと増加し(2015 年比+19%)、2040 年には 143 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 徳島県の一人当たり医療費(国保)は 361 千円(偏差値 62)、介護給付費は 296 千円(偏差値 62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 徳島県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.27 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 60(病院医師数 58、診療所医師数 61)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 64 と多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 57 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 65 と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 66 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 60 と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 61 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 徳島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13380 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 9107 床(偏差値 62)、高齢者住宅等が 4273 床(偏差値 48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10017 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 70、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 66、有料老人ホーム 39、軽費ホーム 45、グループホーム 63、サ高住 54 である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 58 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 78 と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、2201 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は12087床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は8700床であり、その差は-3387床(-28%)である。

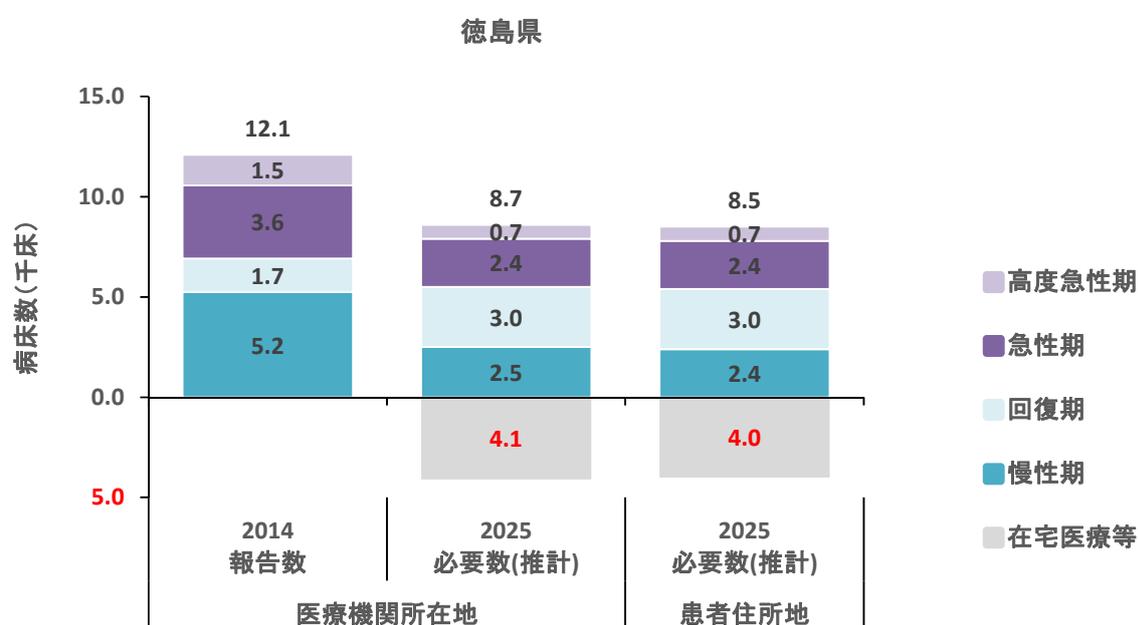
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1514床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は700床であり、その差は-814床(-54%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は3647床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2400床であり、その差は-1247床(-34%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1690床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3000床であり、その差は+1310床(+78%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は5236床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2500床であり、その差は-2736床(-52%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は4100人である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+14%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は±0%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値を掲載している。なお、ガイドラインの推計方法パターンA~Cのうち、何れの方法を用いているかは不明である。<http://anshin.pref.tokushima.jp/med/docs/2015031100016/>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

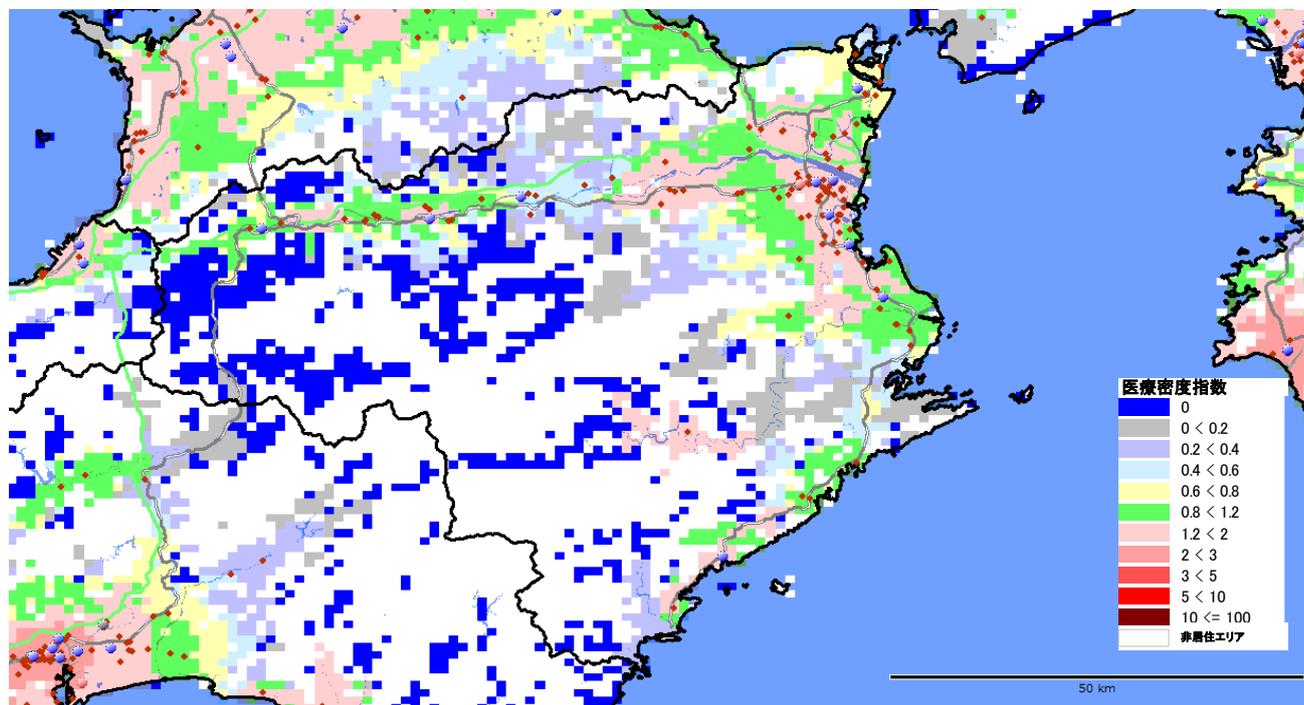
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

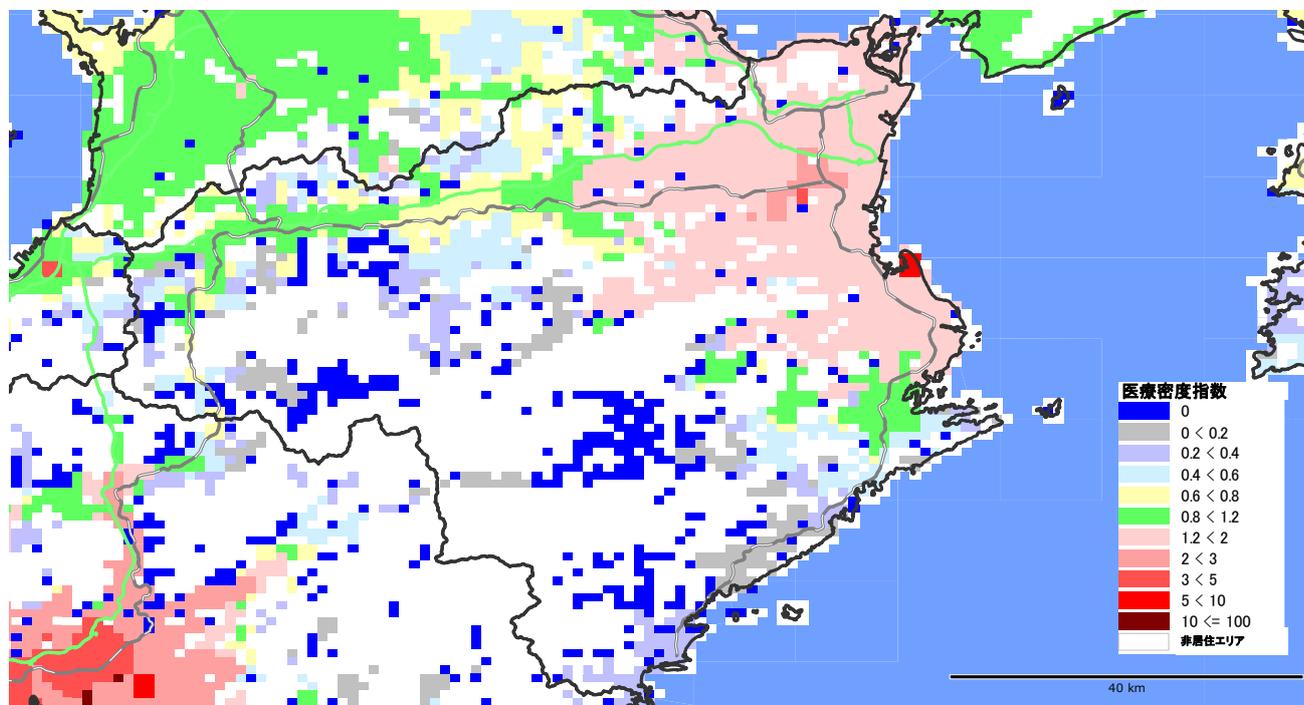
36. 徳島県

2. 医療密度⁵

図表 36-1 急性期医療密度指数マップ



図表 36-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 36-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
徳島県	756	44位	4,147	36位	182.2		31%	686	571	123	146	143	-9%	-17%	19%	-2%
東部	527	70%	1,016	25%	518.5	地方都市型	29%	488	416	78	98	99	-7%	-15%	26%	1%
南部	148	20%	1,724	42%	86.0	過疎地域型	34%	131	106	27	31	28	-11%	-19%	15%	-10%
西部	80	11%	1,406	34%	57.2	過疎地域型	38%	67	49	18	17	16	-16%	-27%	-6%	-6%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 36-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
徳島県	1.12	2.27	13.8%	-2.0%	0.4%
東部	1.23	1.89	8.5%	-15.3%	-17.0%
南部	0.92	2.06	8.8%	-3.4%	7.8%
西部	0.76	0.84	17.7%	22.7%	29.2%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 36-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり医療費		被保険者一人あたり介護給付費	
	(国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
徳島県	361	62	296	62
東部	363	63	291	61
南部	384	68	297	63
西部	415	75	317	68
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

¹日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

36. 徳島県

資_図表 36-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
徳島県	114	1.3%	15.1	70	756	0.8%	100	61
東部	74	65%	14.0	67	552	73%	105	63
南部	21	18%	14.2	68	124	16%	84	52
西部	19	17%	23.6	90	80	11%	100	60
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 36-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
徳島県	756	0.8%	100	61	614	0.7%	81	55	142	1.5%	18.8	66
東部	552	73%	105	63	440	72%	83	56	112	79%	21.3	70
南部	124	16%	84	52	112	18%	76	52	12	8%	8.1	51
西部	80	11%	100	60	62	10%	77	53	18	13%	22.4	72
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 36-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
徳島県	14,936	0.9%	1,977	64	2,331	1.9%	308	69	17,267	1.0%	2,285	66
東部	10,526	70%	1,997	65	1,856	80%	352	73	12,382	72%	2,350	68
南部	2,401	16%	1,620	57	188	8%	127	53	2,589	15%	1,747	57
西部	2,009	13%	2,499	75	287	12%	357	74	2,296	13%	2,856	76
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 36-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
徳島県	6,650	0.7%	880	57	4,310	1.3%	570	65	3,916	1.2%	518	61
東部	4,340	65%	824	55	3,319	77%	630	67	2,829	72%	537	62
南部	1,617	24%	1,091	66	505	12%	341	54	271	7%	183	46
西部	693	10%	862	57	486	11%	605	66	816	21%	1,015	84
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 36-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
徳島県	784	1.1%	104	60	388	1.8%	51	54
東部	624	80%	118	63	258	66%	49	53
南部	132	17%	89	57	80	21%	54	54
西部	28	4%	35	45	50	13%	62	56
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

資_図表 36-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
徳島県	15,864	0.6%	2,099	51	6,756	0.6%	894	52
東部	11,016	69%	2,090	51	4,668	69%	886	52
南部	4,152	26%	2,801	58	1,440	21%	971	55
西部	696	4%	866	38	648	10%	806	49
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 36-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
徳島県	2,595	0.8%	343	60	1,625	0.8%	215	58	970	0.8%	128	61
東部	1,872	72%	355	61	1,194	73%	227	60	678	70%	129	61
南部	507	20%	342	59	297	18%	200	56	210	22%	142	65
西部	216	8%	268	51	134	8%	166	50	82	8%	102	52
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

³ 複数県信越厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

36. 徳島県

資_図表 36-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
徳島県	9,340	0.9%	1,236	64	7,601	0.9%	1,006	63	1,739	1.0%	230	62
東部	6,675	71%	1,267	65	5,324	70%	1,010	63	1,351	78%	256	65
南部	1,648	18%	1,112	59	1,427	19%	963	61	221	13%	149	51
西部	1,017	11%	1,265	65	849	11%	1,057	65	168	10%	209	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 36-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
徳島県	1,269	1.1%	168	66	2,570	0.9%	340	63
東部	952	75%	181	69	2,083	81%	395	68
南部	189	15%	128	58	329	13%	222	50
西部	128	10%	159	64	158	6%	197	47
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 36-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院			
	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
徳島県	150	1.0%	1.2	58	28	2.7%	0.2	78
東部	110	73%	1.4	62	17	61%	0.2	76
南部	24	16%	0.9	50	5	18%	0.2	70
西部	16	11%	0.9	50	6	21%	0.3	94
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 36-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
徳島県	13,380	0.9%	108	58	9,107	0.9%	74	62	4,273	0.7%	35	48
東部	8,754	65%	113	61	5,486	60%	71	59	3,268	76%	42	54
南部	2,608	19%	96	50	2,103	23%	77	64	505	12%	19	37
西部	2,018	15%	109	58	1,518	17%	82	68	500	12%	27	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 36-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
徳島県	4,091	1.1%	33	70	3,683	0.7%	30	47	1,333	1.9%	10.8	66
東部	2,594	63%	33	70	1,922	52%	25	42	970	73%	12.5	70
南部	806	20%	30	64	1,055	29%	39	56	242	18%	8.9	61
西部	691	17%	37	77	706	19%	38	55	121	9%	6.6	56
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
徳島県	195	0.1%	1.6	39	30	0.1%	0.2	45	2,319	1.2%	18.8	63
東部	177	91%	2.3	40	0	0%	0	43	1,545	67%	19.9	65
南部	0	0%	0	37	30	100%	1.1	49	405	17%	14.9	56
西部	18	9%	1.0	38	0	0%	0	43	369	16%	20.0	65
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
徳島県	1,729	0.9%	14.0	54	0	0.0%	0	45	1,729	1.0%	14.0	55
東部	1,546	89%	19.9	64	0	0%	0	45	1,546	89%	19.9	65
南部	70	4%	2.6	36	0	0%	0	45	70	4%	2.6	36
西部	113	7%	6.1	41	0	0%	0	45	113	7%	6.1	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
徳島県	1,680	1.1%	13.6	67	1,391	1.2%	11.3	68	289	0.8%	2.3	51
東部	1,093	65%	14.1	69	879	63%	11.3	69	213	74%	2.7	56
南部	294	18%	10.8	56	246	18%	9.0	59	48	17%	1.8	44
西部	293	17%	15.9	76	266	19%	14.4	82	28	10%	1.5	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

36. 徳島県

資_図表 36-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
徳島県	12,217	0.8%	99	57	10,017	0.8%	81	54	2,201	1.0%	17.8	58
東部	7,761	64%	100	58	6,142	61%	79	53	1,619	74%	20.8	64
南部	2,600	21%	95	55	2,254	23%	83	55	346	16%	12.7	49
西部	1,857	15%	101	58	1,620	16%	88	59	236	11%	12.8	49
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
徳島県	5,894	0.8%	48	51	1,829	0.5%	15	43	14,065	1.0%	114	59
東部	3,765	64%	48	52	1,302	71%	17	45	9,775	69%	126	63
南部	1,627	28%	60	56	279	15%	10	38	2,274	16%	83	49
西部	502	9%	27	43	248	14%	13	42	2,016	14%	109	57
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

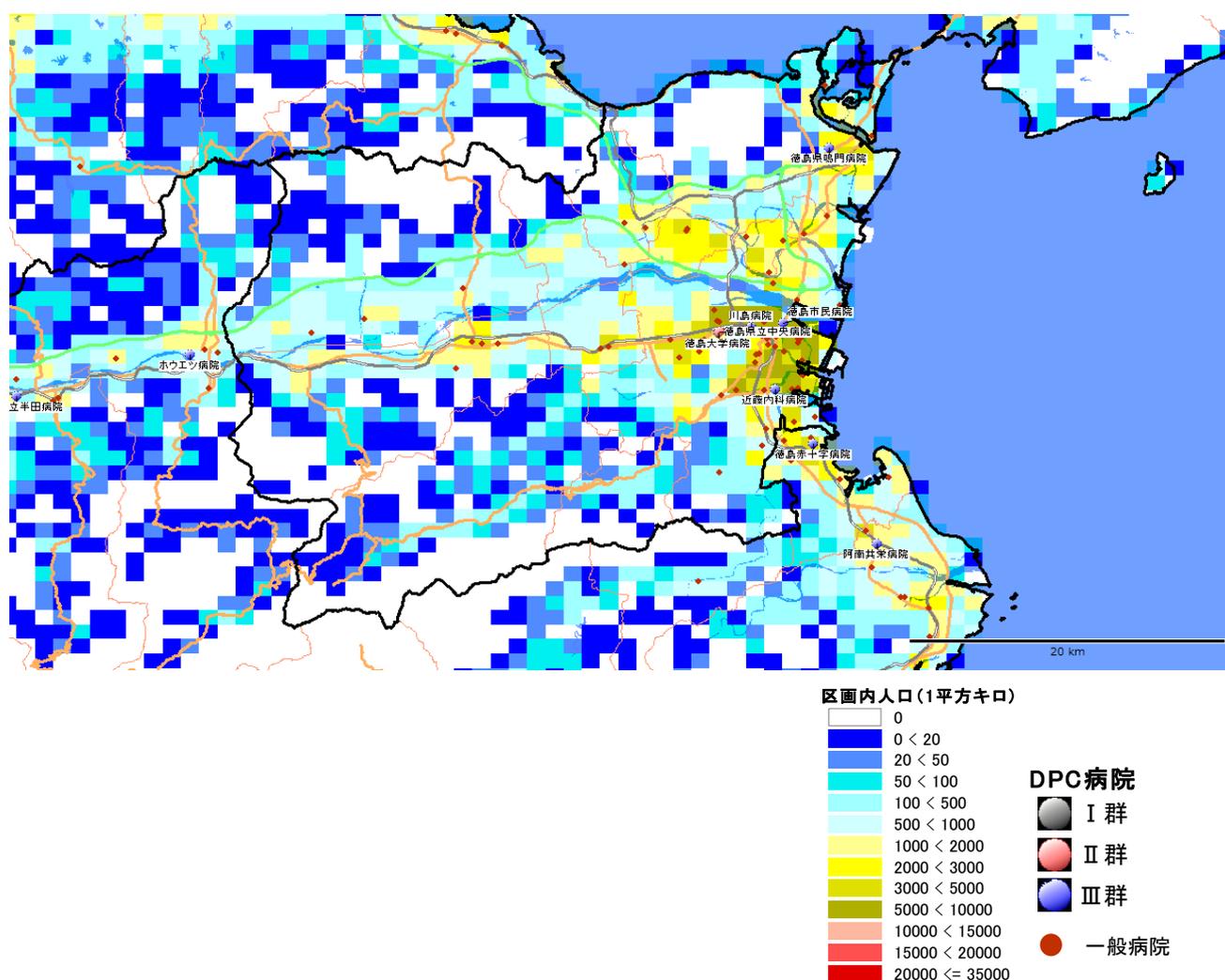
資_図表 36-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
徳島県	4,819	4,364	0	10,072	2,116	4,385	67.3%	56	0.0%	46
東部	3,196	2,763	0	7,322	1,499	3,339	64.8%	55	0.0%	46
南部	1,223	1,215	0	1,167	358	538	77.2%	60	0.0%	46
西部	400	386	0	1,583	259	508	59.8%	53	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計（一部、ウエルネス独自調査含む） 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関（日赤など）としている。									

とうぶ 36-1. 東部医療圏

構成市区町村⁴ 徳島市,鳴門市,吉野川市,阿波市,佐那河内村,石井町,神山町,松茂町,北島町,藍住町,
板野町,上板町

人口分布⁵ (1 km²区画単位)



⁴ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

⁵ 東部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(徳島市)は、総人口約 527 千人(2015 年推計)、面積 1016 km²、人口密度は 519 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は 2025 年に 488 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 416 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 78 千人が、2025 年にかけて 98 千人へと増加し(2015 年比+26%)、2040 年には 99 千人へと増加する(2025 年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は 363 千円(偏差値 63)、介護給付費は 291 千円(偏差値 61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数⁶は 1.23、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.89 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 61(病院医師数 60、診療所医師数 61)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 65 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。東部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の徳島県立中央病院(Ⅱ群・救命)、徳島大学病院(Ⅰ群)、1000 例以上の徳島市民病院、500 例以上の徳島県鳴門病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 67 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 69 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 63 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 62 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 63 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8754 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 5486 床(偏差値 59)、高齢者住宅等が 3268 床(偏差値 54)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6142 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 70、特別養護老人ホーム 42、介護療養型医療施設 70、有料老人ホーム 40、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 65、サ高住 64 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 62 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 76 と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、1619 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

⁶その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

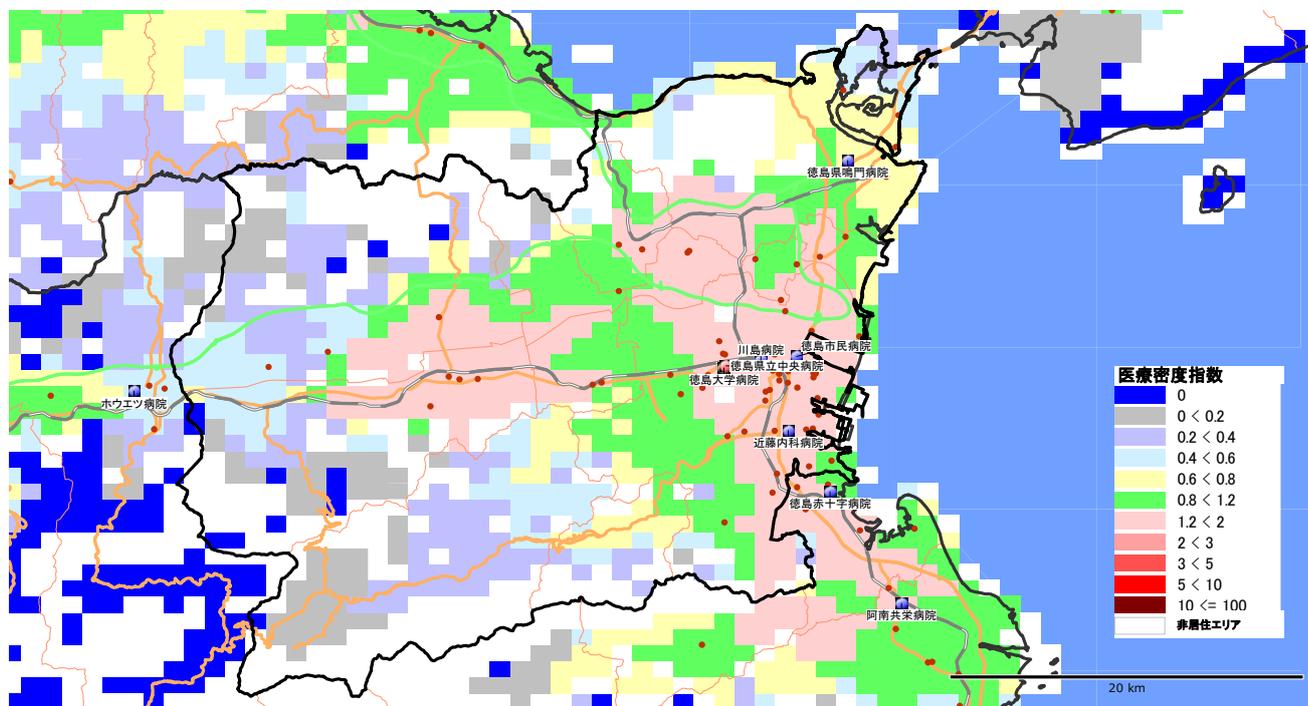
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁷は+8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁷高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

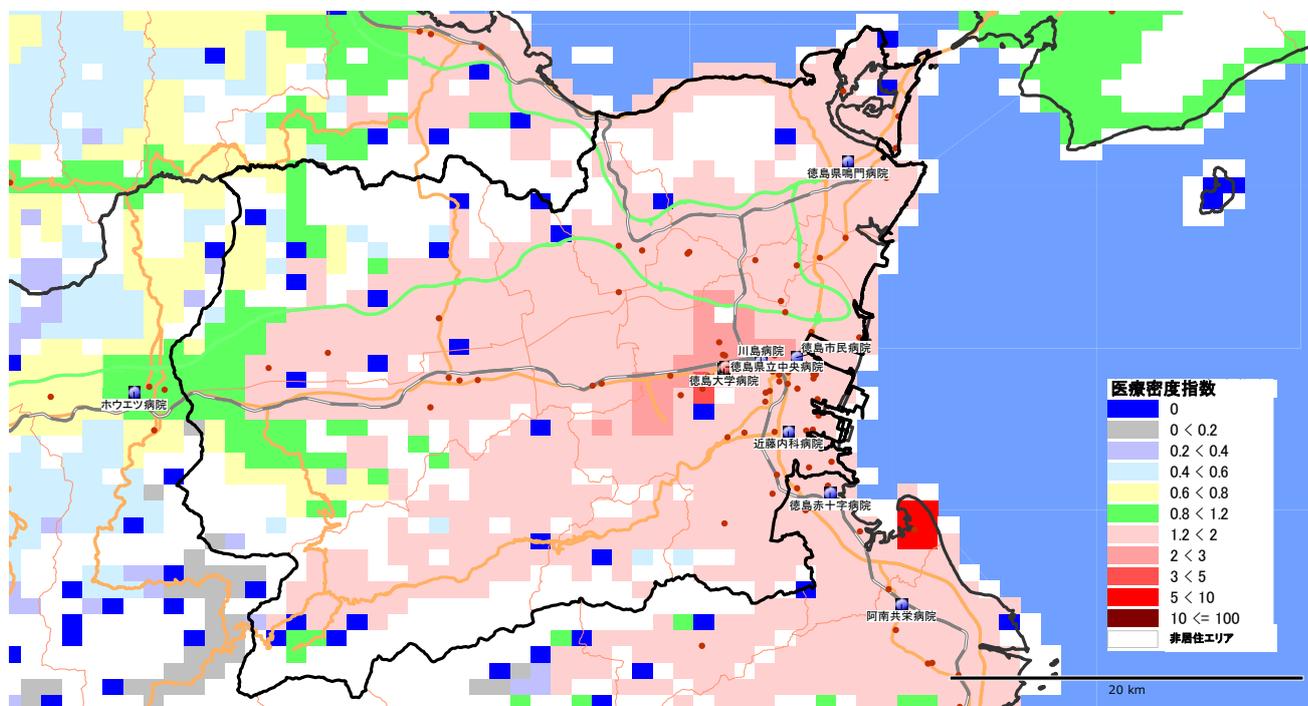
36. 徳島県

2. 医療密度⁸

図表 36-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 36-1-2 慢性期医療密度指数マップ

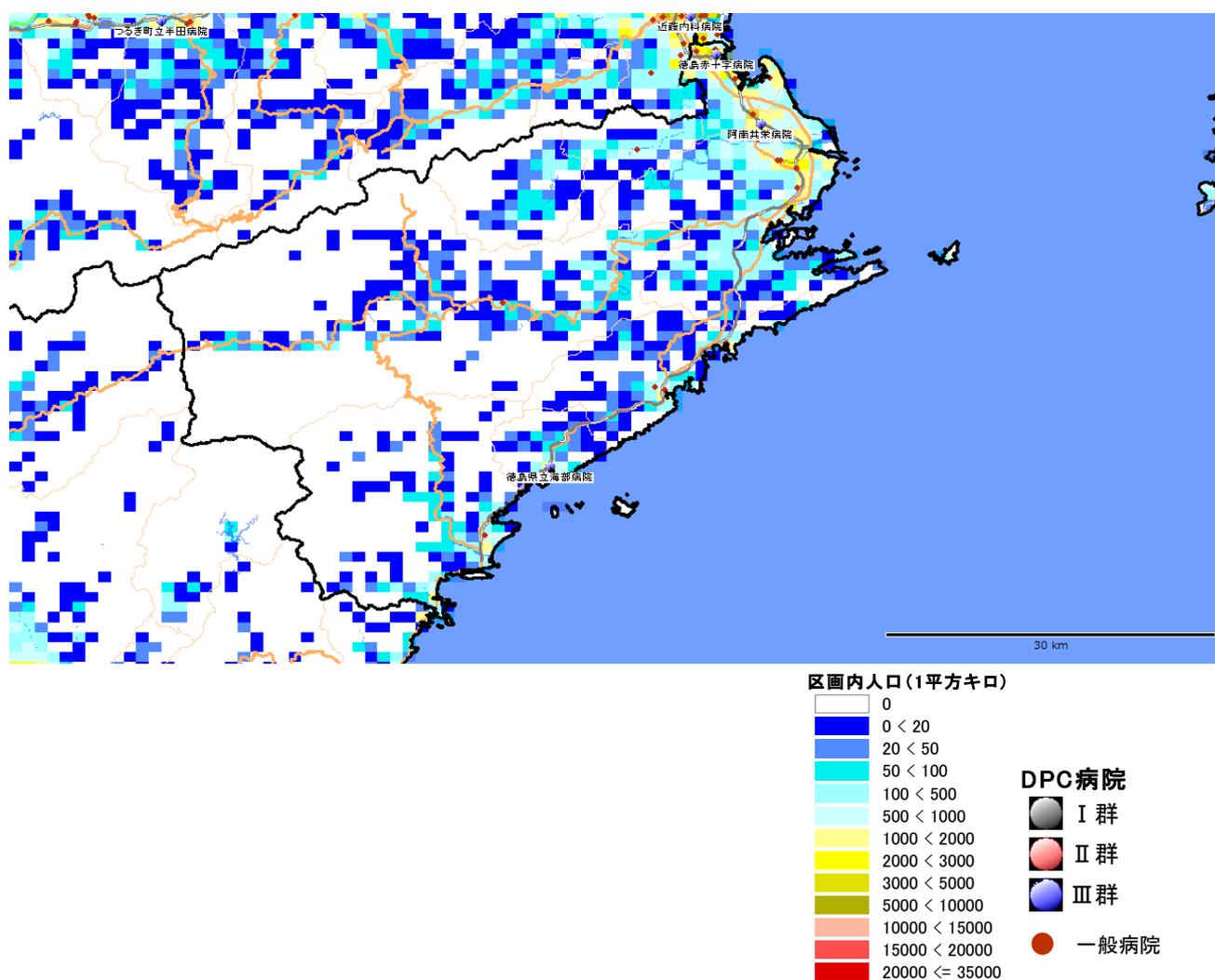


⁸急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

36-2. なんふ 南部医療圏

構成市区町村¹ [小松島市](#), [阿南市](#), [勝浦町](#), [上勝町](#), [那賀町](#), [牟岐町](#), [美波町](#), [海陽町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 南部医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(小松島市)は、総人口約148千人(2015年推計)、面積1724km²、人口密度は86人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に131千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に106千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は384千円(偏差値68)、介護給付費は297千円(偏差値63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数³は0.92、一人当たり慢性期医療密度指数は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が59(病院医師数56、診療所医師数65)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の徳島赤十字病院(救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2608人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2103床(偏差値64)、高齢者住宅等が505床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2254人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設61、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム49、グループホーム56、サ高住36である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、346人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

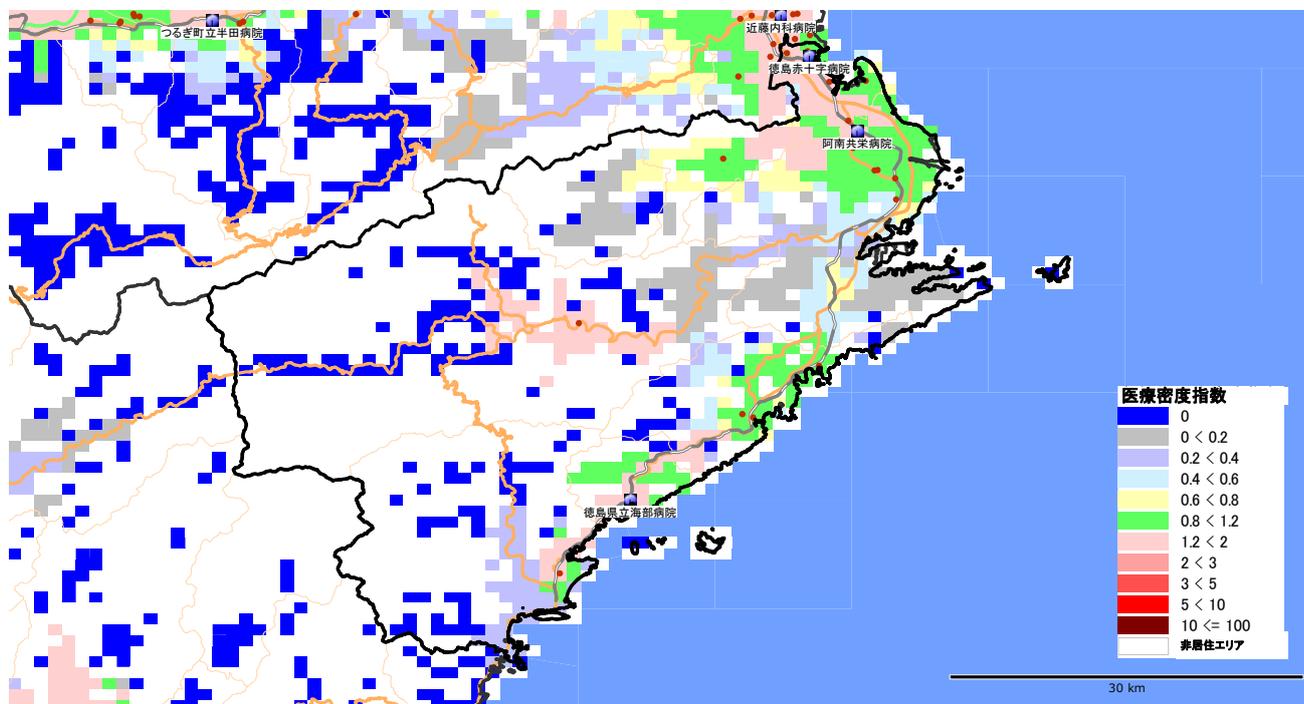
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+8%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

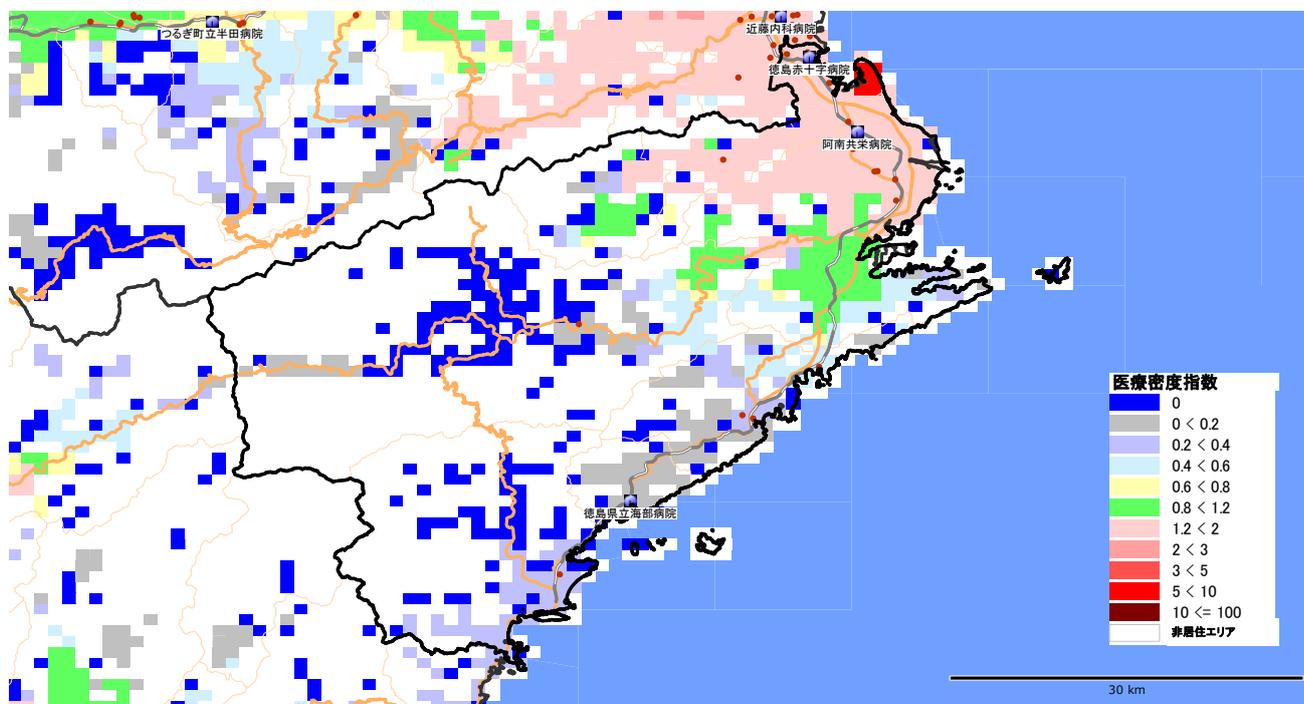
36. 徳島県

2. 医療密度⁵

図表 36-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 36-2-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(美馬市)は、総人口約80千人(2015年推計)、面積1406km²、人口密度は57人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に67千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に49千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて17千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値75)、介護給付費は317千円(偏差値68)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数³は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は0.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は84で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2018人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1518床(偏差値68)、高齢者住宅等が500床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1620人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設77、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム65、サ高住41である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

は偏差値 94 と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、236 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

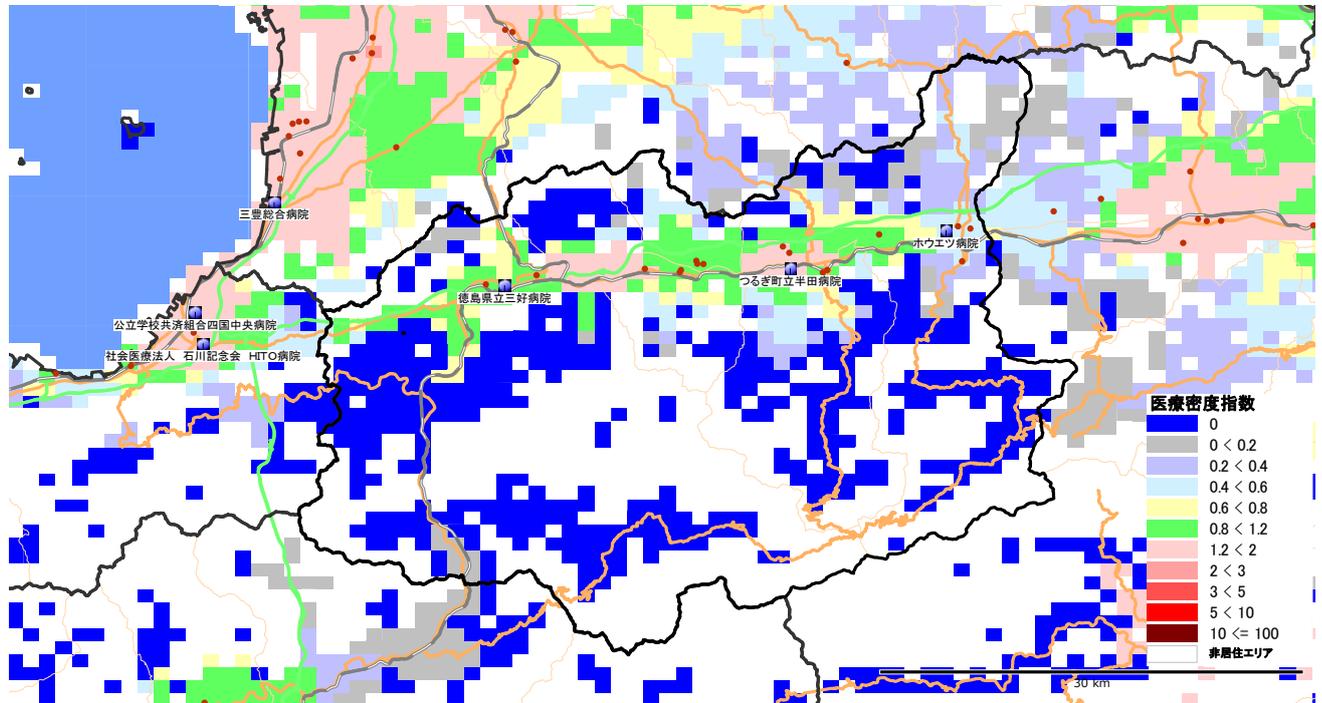
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+18%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+29%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

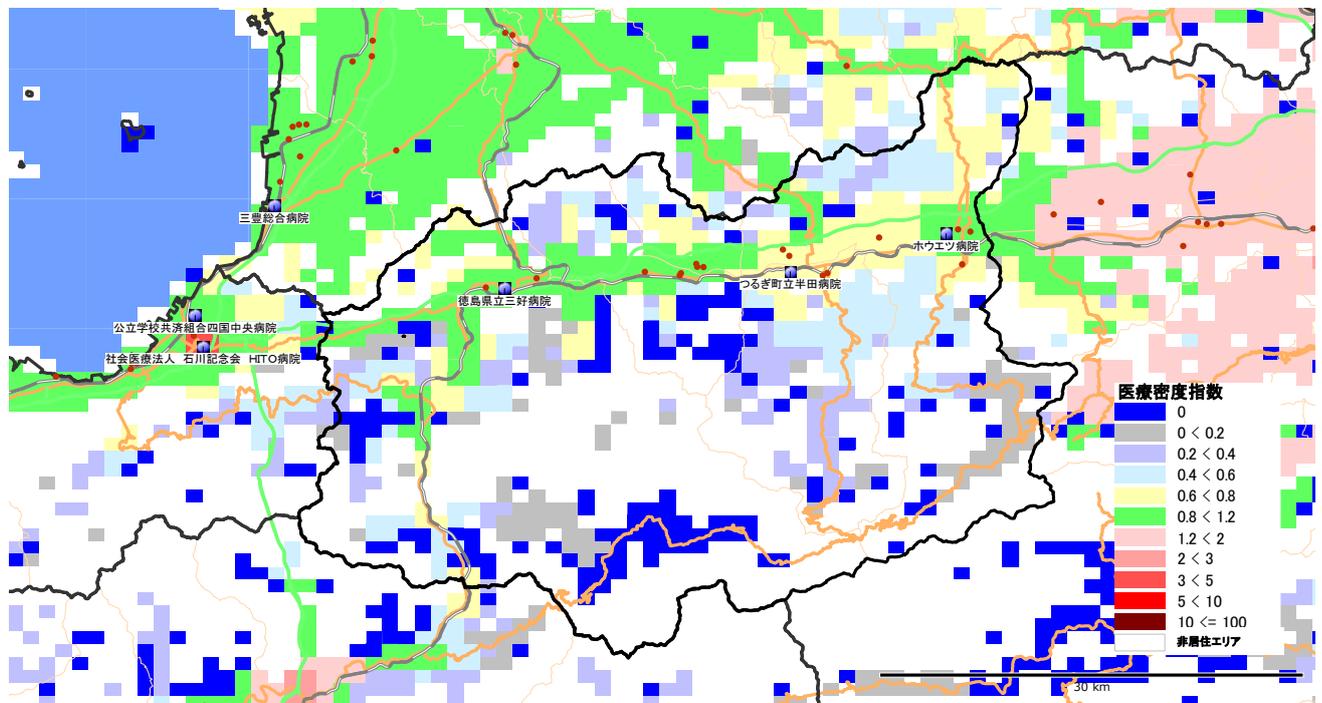
36. 徳島県

2. 医療密度⁵

図表 36-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 36-3-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。